

伊賀市社会事業協会

2016

2016年8月31日 第33号

発行者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

理事長 赤澤 行宏

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2

TEL:0595-21-5545

FAX:0595-23-6670

URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

商船と戦争

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

名誉顧問 森下達也

昭和二十二年三月十九日の昼下がり、ソ連軍支配下の大連港に二隻の日本船の姿があった。一隻はすでに埠頭岸壁に接岸している、私たち千百余名の引揚者集団がやがて乗船する貨物船北鮮丸である。自動小銃を持つソ連兵に監視されながら、日本から来た船員たちがタラップを架ける作業をしていた。もう一隻は少し離れた港内に碇を下ろしていて、北鮮丸よりやや大きい船名の文字がよく見えない。しかし私は、「信濃丸」ではないか、と瞬時に想ったのである。根拠というほどのものはないが、長い一本煙突の、如何にも明治の雰囲気をもとう船であった。

この日のことは久しく忘れていたが、後年、事実信濃丸であったことを確認する引揚船運行記録を入手したのである。記録によれば三月十九日の大連港から、二隻ではなく三隻が計四五二九名の日本人を乗せて出港したことになる。午後出港する新興丸という貨物船の存在を、私が見落としたのだらう。引揚者が日本の商船で出港する瞬間は、兇暴なソ連兵の手の届かない日本国領土に入ったという瞬間でもある。改めて出港順に正しく記しておこう。北鮮丸・大正九年建造二二五七総トン行先博多。新興丸・昭和十四年建造二二五七総トン行先佐世保。信濃丸・明治三十三年建造六三八八総トン行先舞鶴、であった。

さて、私の世代なら「信濃丸」に註釈など必要ないだろうが、平成も二十八年となれば然うもいくまい。信濃丸は明治三十三年西暦一九〇〇年一月にイギリスグラスゴーで進水、シアトル航路貨客船となった。しかし信濃丸が世界にその名を馳せるのは、日本興亡をかけた日本海海戦の前夜、バルチック艦隊を発見して打電した「敵艦見ユ」である。日露開戦に際し海軍に徴用された信濃丸は、仮装巡洋艦という名を与えられ僚艦とともに対馬海峡周辺の前線にあたることとなった。折しも近づくロシアの大艦隊を

速やかに発見し、針路を確認し、彼らが軍港ウラジヴォストークで体勢を立て直す前に叩かなければ、日本の勝利は覚束ないと考えられていたのである。その任務を夜の海で果たし、日本海海戦を完勝に導いた信濃丸への称讃は当然のことであろう。

想えば、半世紀を超える信濃丸の船歴の中で、前述のような華やかな時間はほんの僅かにすぎない。無防備な商船が米潜の雷撃と米機の空爆を躲しつつ輸送にあたった壮絶な姿を、私たちは殆ど知らないのである。大戦中輸送船としての信濃丸に兵士としての「水木しげる」が乗っていた。その頃すでに老朽化の進む信濃丸は、「浮かんでいるのが不思議」と揶揄されていたそうだ。敗戦から二度目の早春の大連港で、私が望見した信濃丸は、疲れ果てた多くの同胞を祖国日本へ送りどけるために、最後の力を振りしぼっている姿、言わば「栄光の鉄屑」であった。

信濃丸はその後シベリア抑留者の引揚げにも参加、大岡昇平はこの船で復員している。半世紀を超える船歴をひっそりと閉じたのは昭和二十六年でスクラップとして解体された。大戦を生きのびた数少ない老朽商船もこの頃から大方解体されるが、少し異なる



—秋色— 松田 昇 写真集「風土記」より

る経過をたどった一隻を紹介しておこう。昭和十三年商船地領丸として進水し、後に海軍特務艦宗谷となった船である。宗谷は戦後引揚者の輸送にも従事したが、昭和二十五年には海上保安庁の灯台補給船に、昭和三十一年には初代南極観測船となつて、昭和三十六年まで六次にわたつて南極へ出向いたのである。昭和五十四年には、東京お台場の「船の科学館」の前に係留され、永久保存展示となつたからご存知の方も多いただろう。

太平洋戦争中に沈められた商船の隻数は、五〇〇トン以上の船舶にしぼっても、軍艦の十倍に達するといわれている。戦前外国航路に就航していた美しい客船の殆どが、米潜の雷撃で沈められた。新田丸、春日丸、阿波丸、八幡丸、三池丸、ブラジル丸など一万トン以上の大船だけでも思い出せばきりが無いのだ。それにつけても、大戦後の、引揚者と復員兵合わせて七百五十万の大輸送という途轍もない事業をなしたげたのは、生きのこつたひと握りの商船であり、多くの先輩をすでに失つた商船クルーたちであつたことを忘れてはなるまい。

最後に、日本の商船の船名に付けられている「丸」は一体何かということである。十五世紀にはすでに「丸」が付いていたが、その由縁は必ずしも確定していないようだ。しかし、かなり有力であるのは、「浮かべる城」という説である。古来日本の城には本丸、二の丸、三の丸などがあり、また出城や砦の名に「丸」を付けたものが多いらしい。明治三十三年明治政府は「船舶法取扱い手続き」を公布、その総則第一条に「日本の船舶の名称には成るべくその末尾に丸の字を附せしむべし」と書かれた。その後は何れも「丸」が付けられるようになり、ひところ日本船は、諸外国から「マルシップ」と呼ばれることが多かつたという。何はともあれ、大河ドラマ「真田丸」が佳境ではないか。

参考

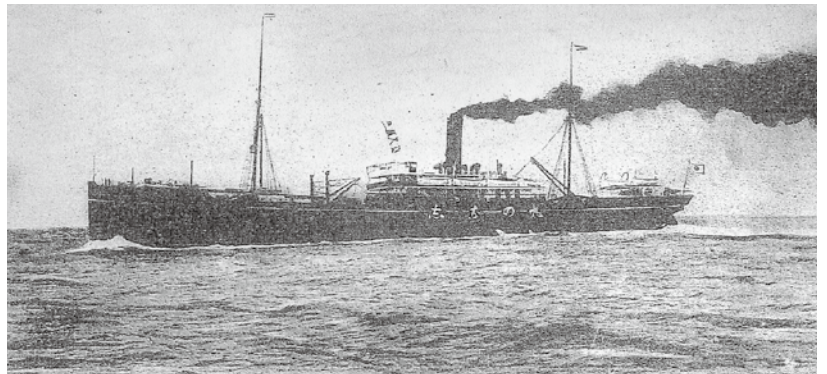
- 20世紀大連資料室 資料集
- 大連静浦小学校校友会記念誌
- 日本商船・船名考 松井邦夫著

「体操教室」に参加しませんか

伊賀市盲人ホーム

- 【開催日】 偶数月 第4土曜日
- 【時間】 午後1時30分～3時
- 【講師】 木下美佐子先生
(鍼灸師・健康体操指導員)
- 【場所】 伊賀市盲人ホーム
(伊賀市上野寺町1184-3)
- 【電話】 0595-23-1511

次回の開催は、10月22日です。
お気軽にご参加ください。



△信濃丸 (明治33年進水・6388総トン)

梨ノ木園で

『いきいきサロン』

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

梨ノ木園では、三重県唯一の盲養護老人ホームを地域の方々にもっと知っていただくため、地元の名産、田いきいきサロンの皆様をお招きしました。



△さあ！優勝は誰の手に

楽しい催しの中でもクイズ大会では、正解者が続出し、じゃんけんで優勝を決めるといふ予想外の展開となり、大変盛り上がっていました。

最後は、懐メロ回想法を行ない、懐かしいの時代背景を紹介しながら、皆さんと一緒に「上を向いて歩こう」等を歌って青春時代を思い出していただきました。笑いの絶えない、楽しいひとときとなりました。



△安全でスムーズな移乗が可能になりました

たご利用者にとっても職員にとっても身体にかかる負担が大幅に軽減していると実感しています。これからも優しい『抱え上げ』の定義を目指して取り組みんでいきます。

前年度から、座位や立位が困難なご利用者のベッド上での移動、ベッドと車椅子間の移乗に際し、スライディングシートやスライディングボードを使用しています。これまでは、人力で抱え上げ移乗していたために、ご利用者の拘縮や、職員の腰痛の原因にもなっていました。補助具の使用は、ご利用者の残存機能を活用することによる筋力の更なる低下を防ぎ、本人の意欲を引き出せる効果もあると言われています。また

『抱え上げない介護』を

目指して

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

なしのき特製 夏バテ知らずの梅ジュース

老人デイサービスセンター なしのき

ご利用者の近隣の方から、家で採れた大粒の梅をたくさんいただきました。

「ご飯のお供に塩辛い梅干しにしようか」「赤じその量…忘れてしもたな」「やっぱり、甘めのジュースがええかな」と、みんなで話が盛り上がりました。相談の結果、暑い夏を乗り切るための梅ジュースを作ることになりました。

手作りおやつと一緒に、入浴後の水分補給にと、皆で作った「なしのき特製！ 夏バテ知らずの梅ジュース」を楽しんでいます。

今夏も、なしのきの皆様は元気です。



△夏バテ予防の梅ジュースで「カンパニー」

おかげさまで開園15周年

身体障害者支援施設 梨丘園



△伊賀御膳堪能中

梨丘園では、このたび開園15周年を迎えました。記念に残るものとして、タペストリー作りに挑戦しました。

正方形の布にステンシルで絵柄を入れ、自分の思いを書いていただきました。好きな色を重ね合わせたり、それぞれに工夫を凝らし、オリジナルの素敵な作品が完成しました。ご利用者は「こんな言葉どうや?」「うまく出来たよ」など、明るく楽しい時間を過ごされたようです。

昼食は、屋外デッキで心地よい風を感じながら、手作り弁当「伊賀御膳」をいただきました。ご利用者は、伊賀に因んだ牛汁、田楽・伊賀肉のコロッケなどに加え、手裏剣型の人参が彩りよく添えられた華やかなお弁当を堪能されていました。

『児童クラブ8施設交流会2016・夏』

8月5日、ゆめドームうえの第一競技場において、当法人が運営する児童クラブの児童二百八十名が一堂に会し、『児童クラブ8施設交流会2016・夏』を開催しました。

子どもたちが、施設を越えてたくさんの方たちと交流を深め、楽しいひとときを過ごせるようにとの思いで、初めて企画しました。

わくわくしている子、少し緊張



△フープdeゲーム “くぐっておくって”



△「また会おうね」

張気味の子や恥ずかしそうにしている子もいましたが、じゃんけんあそびや集合あそびなどプログラムが進行すると次第に打ち解け、会話や笑い声があちらこちらで聞かれました。○×ゲームでは、伊賀にまつわるクイズが出題され、正解すると「やったあー」と大興奮。あつという間に時間が過ぎていきました。最後に、グループのみんなとハイタッチをすると、「ありがとう」「また遊ぼうな」ということばとともに、子どもたちに笑顔が溢れました。
夏休みの楽しい思い出のページになったことでしょう。

歯磨き教室

「しっかり歯磨き、虫歯を防ごう」

ゆめが丘保育所



△「歯の隅々をしっかりと磨こうね」

園歯科医の福地先生は、「生涯にわたって使う丈夫な歯を作るためには、乳歯のケアが大

切」との考えから、毎年、年長児に歯磨きの大切さについて話をさせていただきます。

歯磨きの仕方を教わった後、歯垢を赤く染めてから歯を磨きました。歯垢が落ちると、ピカピカの白い歯になります。子どもたちは、鏡を見ながら「前の歯は白くなったけど、奥はまだ赤い」と丁寧に磨くことの大切さがわかったようです。

民生委員・児童委員さんと交流会

～これからもよろしく～

睦保育園

上野南部地区、久米地区の民生委員・児童委員の皆様から花の苗をいただき、園児と一緒に植えました。その後、わらべうた遊びやじゃんけん列車をして、楽しい時間を過ごしました。別れ際には「また来てね」「また来るよ」と手を振り、互いに名残りを惜しみました。

これからも、子どもたちや保護者を地域で見守ってくださる民生委員・児童委員の皆様と連携し、子育て・子育て支援を進めていきたいと思ひます。



△「じゃんけんぼん」

プールあそび大好き!

～気持ちいいなあ～

曙保育園



子どもたちの大好きなプールあそび。今年の夏も猛暑日が続き、毎日プールから子どもたちの歓声が聞こえてきました。

顔に水がかかると嫌がっていた子どもも、いつの間にか水しぶきをたてて、友だちと水の

かけあいを楽しむようになりました。「先生、見て～！ 顔つけできるようになった！」「バタ足でいっぱい進んだよ」と得意気です。



△「わあ、きもちいい」

思い切りプールあそびを楽しむと、お腹もすくのでしょうか。給食をもりもり食べて、ぐっすりおひるね。『明日のプールあそびを夢見ているのかな』

日焼けした子どもたちは、夏を思う存分満喫したようです。

初体験、紅花摘み

長田保育園



6月から7月にかけて、保育園周辺の畑や庭の紅花が満開になります。松尾芭蕉の俳句にも詠まれている紅花で地元を元気にしようと、地域の方が栽培されています。

毎年、子どもたちのために農家の方が届けてくださり、馴染みの花になっています。今年は、初めて花摘み体験をさせていただきました。葉や萼は陽が射すと硬くなるため、朝露に濡れて柔らかい内に摘もうと、登園後すぐに畑へ向かいました。黄色い花びらを摘むと、芯は紅色をしています。「葉っぱはチクチクするよ」「お花はふわふわやな」「痛いけど楽しいな」と夢中になって摘みましました。花は乾燥させて色染めあそびに使います。

この体験を通して、子どもらしい発見や驚きがありました。10月12日の芭蕉祭には、子どもたちのつぶやきを献詠俳句として投句したいと思います。



△「ふわふわの花びら触ってごらん」

守ろう『かけがえのない命』

～親子交通安全教室～

府中保育園

チャイルドシート着用モデル園の指定期間中、啓発活動の一環として、交通安全協会女



△「右→左→右見て渡ろうね」

性部の方による『親子交通安全教室』を開催しました。

腹話術人形のごう君が、「道路に飛び出したら車にひかれるよ」「右見て左見て、もう一回右見て渡るんやで」と教えてくれました。子どもたちは、楽しみながら事故を防ぐポイントを学べたようです。

保護者には、子どもの手をしっかりとるなどこと、大人がルールを守ってお手本となることを伝え、かけがえのない命を守ってくださいと話されていました。

選挙の点字版

候補者名簿を

作成しています

上野点字図書館



△ 発送作業の様子

7月10日
第24回
参議院議員
通常選挙
が行な
われま

した。視覚に障がいがある方が、どの様にして投票を行なうのかご存じですか？

投票方法は、自分に代わって他の人に代読・代筆を行なってもらう「代理投票」と、自分で点字の候補者名簿を確認し、投票用紙に点字で記入する「点字投票」の2つがあります。

上野点字図書館では、今回も点字の候補者名簿を作成し、県内すべての選挙管理委員会に発送して点字投票を行なう方々を支援しました。

寺町自治会との合同防災訓練

かしの木ひろば

伊賀市消防本部の職員を講師として、寺町自治会と一緒に、防災訓練を実施しました。

始めに、防災に関する講話を聴きました。ご利用者や地元の方は「2・3階にいるときに火災に遭った場合はどうすればいいのか」などと日頃不安に感じていたことを質問し、適確な答えに安心されたようです。

続いて煙道体験をしました。消防職員から「煙を吸わないように姿勢を低くして、鼻と口をタオルで覆ってください」と説明を受け、皆さんは緊張した面持ちで煙が充満したトン



△ 煙が充満「何も見えなかったわ」

ネルに入って行かれました。真っ白な煙は危機感があり、火災時の煙の怖さを改めて実感しました。

もしものときのために、日々の備えを大切にしたいです。

★ 活動が広がる同行援護 ★

かしの木ひろば



△ 楽しい旅行に出発～

当事業所で行なう同行援護は、視覚障がい者の買い物、食事、余暇等の支援が中心でしたが、今回は、伊賀市視覚障害者福祉会主催の一泊旅行(伊勢方面)にヘルパーが同行しました。

「久しぶりの宿泊旅行でうれしい」「海の幸が楽しみ」と、車中で盛り上がり、温泉、宴会と楽しいひとときを過ごされました。2日目は伊勢神宮の内宮参拝と、おはらい町散策を時間いっぱい楽しまれていました。

今後も、様々なニーズに柔軟にお応えし、視覚障がい者の活動の場を広げていきたいと思えます。

ロート製薬株式会社“かるがも基金”

上野点字図書館



ロート製薬株式会社“かるがも基金”よりご寄付をいただき、録音図書などを購入いたしました。多くの皆さまに活用していただけるよう、広く周知を図ります。

日本財団“福祉車両助成事業”

かしの木ひろば

公益財団法人日本財団の助成を受け、福祉車両を購入いたしました。交通マナーの順守と安全運転を徹底し、ご利用者の送迎車として活用させていただきます。



◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成 28 年 2 月～平成 28 年 7 月)

個人

—敬称略・五十音順—

井岡 昭、五百田泰生、伊藤 功、稲森千鶴子、
 稲森 実、稲森 律子、井上 操、岡森千里、
 上田真美子、内田 博久、岡田 勝美、岡森眞理子、
 奥田 良一、小田千恵子、貝増 恒子、勝真由美、
 門田 進、兼本 慶子、上村 倫子、北泉 優子、
 北澤 重信、木下真砂子、木下美佐子、葛岡エミ子、
 小谷 宗吾、権蛇 忠憲、清水 栄子、清水 公人、
 角田 宗成、角田 充代、清水 和夫、田中 澄夫、
 田中美代子、田村 敏子、田山紗知子、塚本 初子、
 津田 美恵、寺村 寿夫、豊岡 百子、豊田 貴、
 中川 定子、中村 節子、中森 正博、中森 洋子、
 中矢 英夫、中山 洋美、西口 保次、西田 誠、
 西出 成子、早瀬 福子、平嶋さやか、福田 定子、
 藤井 充子、藤永 清信、藤林 政代、藤森 直美、
 古川 節郎、古川美智代、前川 悟、松井 謙二、
 松田 雅子、松永 伸、水野 文子、百北富美子、
 百北 幸雄、森 令子、森岡 佑子、森 弘子、
 森田 満枝、森中 一美、矢口キ又代、山口 義美、
 山崎 和憲、大和 幸司、山本 濱子、山口 義美

団体

—敬称略・順不同—

上野点訳奉仕グループあい、上野音訳グループしのび、
 名張点訳グループあがり、名張音訳グループこたま、
 上野点訳図書館朗読ボランティア、伊賀FCくま、
 伊賀市視覚障害者福祉会、伊賀市消防団女性部、
 伊賀市聴覚障害者福祉会、上野手をつなぐ育成会、
 絵手紙いっは、絵本ボランティア「もこもこ」、
 燈籠俳句会、集門ホール「語り部塾」、
 長田なたねの郷づくりの会、
 ボランティアグループミックスジュース、
 伊賀白鳳高等学校、伊賀市、南山城村、大滝地区、
 桂地区、朝屋地区、治田地区、予野地区、
 上野東部地区市民センター、
 明日が楽しみな里づくり委員会、
 上野南部地区民生委員、児童委員、
 小田地区市民センター、小田町住民自治協議会、
 久米地区民生委員、児童委員、寺町自治会、
 寺町老人会、友生地区住民自治協議会、
 友生老人クラブ、中瀬老人クラブ連合会、
 長田地区住民自治協議会、古山地区住民自治協議会、
 保育園保護者会、三田地区住民自治協議会、
 ゆめが丘地区民生委員、児童委員、
 予野保育園教育後援会、安立寺、黒住教上野中教会、
 平井神社、グリーンティ、高尾、コーカ共同製茶、
 伊山南部共同製茶工場、田山第一共同製茶工場、
 伊賀北部農業協同組合、上野自動車学校、
 オートセンターモリ、岡三アセットマネジメント、
 小川整備、小川モーターズ、割志摩、サンピア伊賀、
 西尾デンキ、日本財団、日本ファイブ、広井時計店、
 ロート製菓

～ 平成27年度 当法人の決算諸表 (法人全体) ～

資金収支計算書

勘定科目	決算額(千円)
介護保険事業収入	373,817
老人福祉事業収入	179,983
保育事業収入	1,296,959
就労支援事業収入	688
障害福祉サービス等事業収入	232,850
医療事業収入	16,388
その他の事業収入	42,726
経常経費寄附金収入	7,656
受取利息配当金収入	156
その他の収入	24,355
事業活動収入計	2,175,578
人件費支出	1,647,954
事業費支出	310,032
事務費支出	165,865
利用者負担軽減額	253
支払利息支出	147
事業活動支出計	2,124,251
【事業活動資金収支差額】	51,327
施設整備等補助金収入	2,750
固定資産売却収入	100
施設整備等収入計	2,850
設備資金借入金元償還支出	3,504
固定資産取得支出	34,304
ファイナンス・リース債務返済支出	424
施設整備等支出計	38,232
【施設整備等資金収支差額】	- 35,382
積立資産取崩収入	27,254
その他の活動による収入	50
その他の活動収入計	27,304
積立資産支出	36,754
その他の活動による支出	20
その他の活動支出計	36,774
【その他の活動資金収支差額】	- 9,470
<当期資金収支差額合計>	6,475
〔前期末支払資金残高〕	373,075
【当期末支払資金残高】	379,550

事業活動計算書

勘定科目	決算額(千円)
介護保険事業収益	373,817
老人福祉事業収益	179,983
保育事業収益	1,296,959
就労支援事業収益	688
障害福祉サービス等事業収益	232,850
医療事業収益	16,388
その他の事業収益	42,726
経常経費寄附金収益	7,656
サービス活動収益計	2,151,067
人件費	1,641,752
事業費	310,032
事務費	165,865
利用者負担軽減額	253
減価償却費	147,798
国庫補助金等積立金取崩額	- 84,275
退職給付引当金繰入	14,642
サービス活動費用計	2,196,067
【サービス活動増減差額】	- 45,000
受取利息配当金収益	155
その他サービス活動外収益	24,355
サービス活動外収益計	24,510
支払利息	146
サービス活動外費用計	146
【サービス活動外増減差額】	24,364
【経常増減差額】	- 20,636
施設整備等補助金収益	2,750
固定資産売却益	100
特別収益計	2,850
固定資産売却損・処分損	94
国庫補助特別積立金積立額	2,750
特別費用計	2,844
【特別増減差額】	6
【当期活動増減差額】	- 20,630
前期繰越活動増減差額	961,782
【当期末繰越活動増減差額】	941,152
その他の積立金取崩額	27,255
その他の積立金積立額	36,755
【次期繰越活動増減差額】	931,652

貸借対照表

勘定科目	決算額(千円)
流動資産	455,945
現金預金	248,919
事業未収金	158,373
未収補助金	47,436
前払金	987
仮払金	230
固定資産	3,176,013
固定資産(基本財産)	2,084,065
建物	1,876,648
土地	207,417
固定資産(その他の固定資産)	1,091,948
建物	13
構築物	29,707
機械及び装置	13,601
車輛運搬具	9,038
器具及び備品	94,698
有形リース資産	3,211
権利金	898
ソフトウェア	4,820
投資有価証券	11
退職給付引当資産	151,802
差入保証金	110
建設積立資産	125,000
償還積立資産	5,000
人件費積立資産	133,943
修繕積立資産	280,290
備品等購入積立資産	84,456
保育所施設・設備整備積立資産	94,350
その他の積立資産	61,000
資産の部合計	3,631,958
流動負債	180,636
1年内返済設備資金借入金	3,504
1年内返済予定リース債務	727
事業未払金	70,699
預り金	814
職員預り金	4,508
前受金	13
仮受金	361
賞与引当金	100,010
固定負債	156,874
設備資金借入金	2,588
リース債務	2,484
退職給付引当金	151,802
負債の部合計	337,510
基本金	111,313
国庫補助金等特別積立金	1,467,444
その他の積立金	784,039
建設積立金	125,000
償還積立金	5,000
人件費積立金	133,943
修繕積立金	280,290
備品等購入積立金	84,456
保育所施設・設備整備積立金	94,350
その他の積立金	61,000
次期繰越活動増減差額	931,652
(うち当期活動増減差額)	- 20,630
純資産の部合計	3,294,448
負債及び純資産の部合計	3,631,958

各施設に決算書を備えてありますので、閲覧を希望されます方は職員にお申し出ください。

「平成28年熊本地震災害」義援金のお礼とご報告

平成28年熊本地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
 この度の震災において、人的・物的被害により被災された現地の方々への支援を目的とした義援金募金箱を、法人内の各施設に設置させていただきました。募金活動にあたり、保護者をはじめ関係者の皆様より心温まる支援を頂戴いたしましたことに厚く御礼を申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

あわせて、今回の募金活動について以下のとおりご報告いたします。

義援金総額 306,312円

皆様から寄せられました義援金は、中央共同募金会を通じ、熊本県及び大分県の支援活動に役立てられます。

放課後児童クラブ 「成和西」「成和東」が開所

4月から、放課後児童クラブ“成和西”と“成和東”を開所しました。以前から、地域の方々が望まれていた児童クラブであることから、保護者の方からも「放課後も安心です」と喜んでいただいています。

子どもたちは、毎日「ただいま」と元気よく学校から帰り、宿題を済ませた後は、友だちと折り紙をしたり読書やゲームあそびなどをして、充実した時間を過ごしています。



△地域の方にゲートボールを教わっています

『日盲社協奉仕者表彰受賞』 おめでとうございます



△点訳ボランティア 中森繁美さん
△音訳ボランティア 神前ひろ子さん

日本盲人社会福祉施設協議会の第64回全国盲人福祉施設大会において、上野点字図書館の点訳ボランティア中森繁美さんと、音訳ボランティア神前ひろ子さんが奉仕者表彰を受賞されました。

お二人が製作された点字・録音資料は、全国の視覚に障がいがある方々にご利用いただいています。

心からお祝いを申し上げますとともに、多年のご奉仕に深く感謝いたします。

新任職員の紹介

保育、介護、調理の現場で働く新任職員の決意と希望に満ちた声です。それぞれの施設で直向きに奮闘する若者をよろしく願っています。

笑顔を決やすことなく、子どもと共に日々成長していきたいです。

【曙保育園】I・Y

日々の健康を大切に、子どもの笑顔いっぱいの保育を目指したいです。

【睦保育園】I・S

周りに感謝しながら、一つひとつのことに丁寧に取り組みたいです。

【三田保育園】N・M

保育士の仕事に誇りを持ち、日々成長していけるようにしたいです。

【中瀬城東保育園】O・A

笑顔を決やすさず、何事にもチャレンジする気持ちを持ち続けます。

【友生保育園】N・M

常に子どもの目線で考えられる保育士を目指します。

【花之木保育園】T・S

いつも笑顔を決れずに、毎日楽しい保育をしていきたいです。

【花之木保育園】N・S

子ども一人ひとりの気持ちを大切に、成長を見守りたいです。

【みどり保育園】T・H

いつも笑顔を決れに、自分から気付いて動く職員になりたいです。

【みどり保育園】F・N

子どもと毎日全力で向き合える保育士になりたいと思います。

【みどり第二保育園】O・E

日々健康に気を付け、明るく楽しい雰囲気の中で保育をしたいです。

【ゆめが丘保育所】F・R

思いやりを持って関わられるように自分の心に余裕を持ちたいです。

【ゆめが丘保育所】M・M

日々努力し、人に頼られる人間になれるようがんばりたいです。

【梨ノ木園】T・S

わからないことばかりで不安ですが、一生懸命頑張ります。

【第二梨ノ木園】U・E

積極的に行動し、ご利用者を笑顔にできる職員になりたいです。

【第二梨ノ木園】H・M

経験不足ですが、精一杯努力して役に立てる人材になりたいです。

【第二梨ノ木園】F・R

人との関わりを大切に、思いやりを持って接していきたいです。

【梨丘園】K・K



編集後記

九月一日は「防災の日」

です。この日は、一九三三年に起こった関東大震災を教訓に定められ、各地で行事や訓練などが行なわれています。本年四月には、熊本・大分において震度7の大地震が発生し、多くの被害を出しました。また、東海・南海・南海地震が起こると言われてから何年も経過し、いつ発生してもおかしくない状況です。この日を機会に、食料・飲料水の備蓄、家具の転倒防止、家庭内での安全確認方法などについては、自分を守るために必ず準備、確認をしてください。さて、今回もみなさまのご支援、ご協力を賜わり、本誌を発行することが出来ました。心より深くお礼申し上げます。

(編集子M)